

防虫剤の5つの注意点

協力／日本繊維製品防虫剤工業会

衣類などの収納時に役立つ防虫剤。注意点を守って正しく使いましょう。

必ず使用量を守る。

製品パッケージなどに記載されている使用量を確認する。特に使いすぎに注意。

部屋の換気をする。

衣類の入れ替えをする時は、部屋の換気を行う。

密閉容器に入れて使用する。

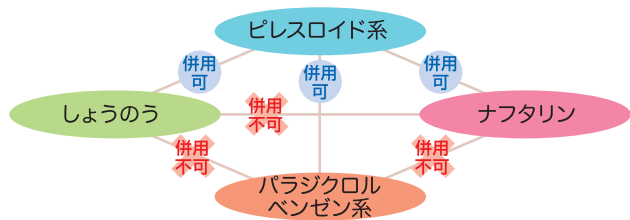
タンス、衣装ケース等の密閉性のある収納容器で使用する。

子供の手の届くところに置かない。

誤って防虫剤を食べてしまった時は、医師に相談する。

防虫剤の併用には、注意する。

薬剤の異なる防虫剤を併用すると、薬剤が溶けて衣類にシミがついたり変色することがあるので、確認して使用する。



便利な収納グッズ

①ミニバルブ式衣類圧縮袋 998円

手で押すだけで空気が抜け、空気が逆戻りしないバルブ式の衣類用圧縮袋。S・M・Lサイズが各1枚の3枚セット。サイズ違いあり。

②大きめ布団用 オートバルブ式圧縮袋 L 798円

布団を畳んで袋に入れ、バルブに掃除機のノズルを当てて空気を吸い取るシステム。約3分の1の厚みまで圧縮。2枚入り。サイズ違いや防ダニ加工商品も。

③衣類収納袋 498円

60×45×20cmの衣類をまとめて収納する袋。入れた衣類を一目で確認できる透明窓付き。防虫・消臭・抗菌・防カビ処理済み。

④ふとん収納袋 698円

防虫・消臭・抗菌・防カビ処理をした布団用の収納袋。透明窓付き。100×65×60cmで、毛布などを数枚収納できるサイズ。

衣替え時などに便利な布団や衣類の圧縮袋、収納袋のほか、気になる収納アイテムをチェック！

協力／ホームセンターダイキEX美沢

※価格は5月14日時点の店頭価格です。



香りと一緒に収納を

衣類や布団を収納する時に使う、タンスシート、除湿剤、防虫剤などに「香りタイプ」が続々登場。防虫などの効果はそのままに、収納した衣類にいい香りを付けてくれます。フローラルやせっけん、柔軟剤の香りなど多種多様な商品が発売されていますので、チェックしてみてください。

衣替えがチャンス
衣替えは、厚手の物と薄手の物を入れ替えるというだけでなく、収納スペースの整理や不要な物を選別するいいチャンスです。

収納空間にゆとりを
収納空間に目一杯詰め込むと、空間を有効活用しているようですが、実際には、収納された物が取り出しにくい、何が入っているか分かりにくい、という問題が起こります。引き出し、棚、タンス、押入れの中等、物を詰め込み過ぎないようにしましょう。

使わないもの
物が少ないと空間にもゆとりがでやすく、片付けやすいメリットがあります。しかし、物が多いことが悪いというわけではありません。頻度は違っても、どれも使っていないのなら問題はありません。大切なのは「使っていない物」「必要」「使っていない物」「不要」を仕分けすることです。まずは、使っていない物をずっと持ち続けていないか確認してみましょう。

布団の収納
布団などは、詰め込みすぎると湿気やすくなるので、このスペースも詰め込みすぎないのがポイント。使うスペースは8割程度までに。かさばるものは、圧縮袋が便利です。

衣類の収納
衣類は、衣替えのタイミングで、いらなくなったものを処分し、新しいものを買い足すのがいいです。片付けたいの、天気が悪くて洗えない、干せないという時には、コインランドリーもお勧めです。毛布など大きな物がまんべんなく洗え、乾かせます。

ものの処分を。特に子ども服はシーズンでサイズが合わなくなりがちです。整理しましょう。しまう時には、一目で何が入っているか分かるように立てて収納します。奥行きがある引き出しなどは、手前から奥に並べると、手前ばかりを使いがち。奥が冬物、手前が夏物とした上で、左右に並べてみましょう。

今週のテーマ 収納のヒント

かさばる冬の衣類や寝具の収納では頭を悩ませがち。収納のプロが教える心得やコツ、グッズ防虫剤などを活用して、わが家の収納をワンランクアップさせませんか。

協力／整理収納コンサルタント・アドバイザー 梶岡ルミ子さん